

明石市

国際協力海外レポート

石村 未来 (いしむら みく)【JICA 海外青年協力隊】

赴任国：グアテマラ共和国

職 種：コミュニティ開発

赴任期間：2018年6月～2020年6月(予定)



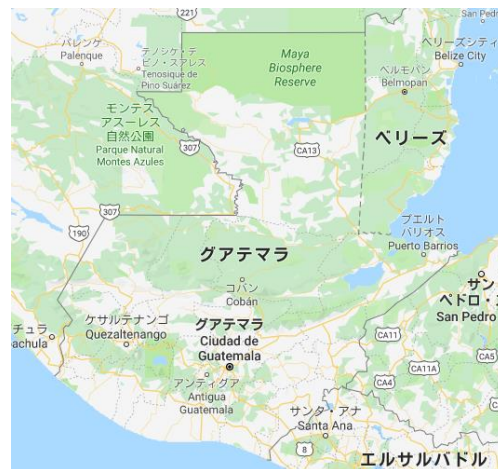
明石市にお住まいのみなさん、Hola!!(こんにちは！)

JICA 海外協力隊、コミュニティ開発としてグアテマラ共和国でボランティア活動をしています。昨年の6月にグアテマラに赴任し、任期も残り9か月となりました！今日は、グアテマラについてとそこでの生活、活動についてご紹介します。

【どこにある国かご存知ですか？】

“グアテマラ”と聞いてみなさん何をイメージしますか？コーヒー好きの人は真っ先に“グアテマラ＝コーヒー”が思いつくのではないのでしょうか？

日本から飛行機で約20時間、中米にあるグアテマラ共和国は、メキシコの南、ホンジュラス、エルサルバドルの西に位置しています。日本との時差はなんと15時間！（グアテマラは1日遅れです。）首都はグアテマラシティ。人口は約1,691万人。面積は、約10万8千平方キロメートル。公用語はスペイン語ですが、人口の約半数近くを占める先住民族のマヤ民族が暮らし、地方ではマヤ語が話されています。宗教は、主にカトリック、プロテスタントですが、伝統的なマヤの宗教も存在しています。主産業は農業で、みなさんがイメージするコーヒーもこの国で栽培されています。



【マヤ民族が住んでいる国】

“マヤ民族”“マヤ文明”という言葉聞いたことはありますか？ここ、グアテマラはマヤ文明が栄えた地であり、今もなお先住民族のマヤ民族が生活しています。マヤ民族といっても一概に同じではなく、マヤ民族の中でも地域や場所によって、話す言葉、服装が異なります。言語は22言語あり、村を訪れると主にマヤ語その次にスペイン語を話します。男性は両方話せる人もいますが、女性は中にはマヤ語し

か話せない人も多いです。また、民族衣装がとってもかわいいのです！主に女性たちが今もなお民族衣装を普段着として着用しています。上の服をウィピル、下のスカートをコルテ、帯をファハと呼びます。写真のように民族衣装には様々な柄・色・素材があり、値段も安いものから高いものまでとさまざまです。私も1着購入したので、機会を見つけて着ていきたいです！

【観光地がたくさん！】

グアテマラには観光地がいくつかあります。私が訪れたことがある、アンティグア、パナハチェル、ティカル遺跡をご紹介します。アンティグアは首都から約1時間のところにあり、多くの観光客が訪れます。特に毎年4月にあるセマナサンタ（英語でイースター）では、このイベントを見るためにいつも以上に多くの人であふれかえります。今年初めて見に行きましたが、人が多く、町中が盛り上がっていました。このような行事を大事にしている姿をみると「宗教とは」と考えさせられます。

また、パナハチェルは首都から約3時間、アティトラン湖があり、こちらも観光客に有名な場所です。湖の周りにいくつかの市があり、刺繍がかわいい小物が販売されている場所やコップやお皿などの陶器が作られている場所、グアテマラの硬貨のモデルになった女性が住む場所など訪れるところがたくさんあります！私も何度か訪れていますが、湖を見ながらおいしいご飯を食べてゆっくりできるのも素敵なおところです。

そして、ティカル遺跡！グアテマラの北部、ペテン県にあるマヤ文明の遺跡です。ここは、映画スターウォーズのロケ地にもなっていると言われています。周りをジャングルで囲まれており、その中を歩きながら遺跡を回ります。遺跡に出会うととても壮大で、また一部の遺跡は上ることができ、上から眺める景色もすばらしいです。

ほかにもまだまだ観光地はたくさんあり、私もグアテマラにいる間に訪れたいです！みなさんもぜひグアテマラに遊びに来ませんか？



同僚と民族衣装を着た写真



セマナサンタの様子



アティトラン湖 (パナハチェル)



ティカル遺跡

【生活様子】

ここからは、私の任地の様子と活動についてご紹介します。

私の任地は、首都から4時間離れた北西に位置するキチエ県サンタクルスデルキチエ市です。市内の人口は約9万人。マヤ民族が多く住んでいるところであり、街を歩くとあちらこちらからマヤ言語であるキチエ語が聞こえてきます。キチエ県内でもマヤ言語が市や場所により異なります。各市の中心には必ず教会、市役所があります。そして、毎週木曜・日曜はメルカド（マーケット）の日とい



キチエ県サンタクルスデルキチエ市 中心地

って野菜やフルーツ、小物など様々なものがメルカドで販売されています。また、町には飲食店、スーパーが多くあり、そしてなんと！あのファストフードで有名な「マクドナルド」もあるのです！写真は、昨年の Feria（お祭り）の様子です。このお祭りは、毎年各市、異なった月日に聖人を祝うお祭りで、各市にそれぞれの聖人が存在します。私の任地では8月に聖人 Santa Elena を祝い、写真のように出店がたくさん並び、パレードやコンサートなどが開かれ盛大に行われます。普段はとっても落ち着いた町ですが、お祭りになると朝から空砲が鳴り、音楽も町中に聞こえるくらいの音量と、祝い方が日本と異なりとっても派手です。このように日本とは違うお祭りや生活があるものの、日本と同じようにスーパーや飲食店があり、私がイメージしていたグアテマラとは違い驚きがたくさんありました！

【活動について】

次に、コミュニティ開発としての私の活動についてご紹介します。私の配属先は、キリスト教系のNGO「Pastoral Social Cáritas Quiché」（通称カリタスキチエ）です。ここでは7つのプロジェクトが実施中であり、プロジェクトの内容、期間、対象者はそれぞれ異なります。その中で私は3つのプロジェクトに関わり、6つのコミュニティで同僚たちと一緒に活動しています。プロジェクトの活動内容としては、農民の生活改善・向上のために、作物の育て方・肥料の使い方などの農業技術、栄養、健康、社会参加・農民グループの組織強化などさまざまなテーマをもとにワークショップを行っています。コミュニティ開発は活動の幅が広く、またプロジェクトは



農民へのアンケート調査風景

すでに始まっていたため、どのように活動するか考えました。そこでまずは農民の生活状況を知るために、5つのテーマ（衛生、健康、農業、栄養、家計）をもとにアンケートを行いました。それを用いて、同僚とどのように活動するかを話し合い、それぞれのテーマで改善が必要な内容についてワークショップを通じて活動しています。例えば、写真のように栄養では3食食品群について行いました。イラストを用いて食品がどのグループに分かれるのか、それぞれどのような役割があるかを、私が一方的に話す・説

明するのではなく、農民が考えながら、意見を出しながらイラストを貼るといった参加型に行っています。また、手洗いについても普段の手洗いと正しい手洗いとでどう違いがあるのかを学ぶために、絵具を手に塗って視覚化しました。自分で気づくこと、考えるようなワークショップにするようにしています。活動する上で壁になるのが、“言葉”です。農民のほとんどは、マヤ語を話しますが、私はスペイン語しか話せないので、伝えることが難しいです。そのため、このようにイラストやアクションを用いて、農民が理解できるように工夫しています。

文化や言葉が違う中で生活することは簡単ではありません。ですが、私は同僚をはじめこの国の人たちに助けをもらいながら生活することができています。外から来た日本人である私を温かく迎え接してくれている彼らに感謝しています。残りの任期も少なくなってきましたが、農民たちと一緒に考え話し合いながら、生活を向上していけるように頑張ります！！

最後まで読んでいただきありがとうございました！

Muchas Gracias!



手洗いのワークショップ



村で栄養をテーマにしたワークショップ